

第98期 上半期のご報告  
(2018年度)  
2018年4月1日から2018年9月30日まで



# Investor Express

株主・投資家の皆さまへ



## Contents

- 1 株主・投資家の皆さまへ
  - 3 セグメント別の概況
  - 5 トピックス
  - 7 連結財務諸表（要約）
  - 9 会社の概要
  - 10 CSRの取り組み
- 裏表紙 株主インフォメーション

小田急電鉄株式会社



## 経営理念

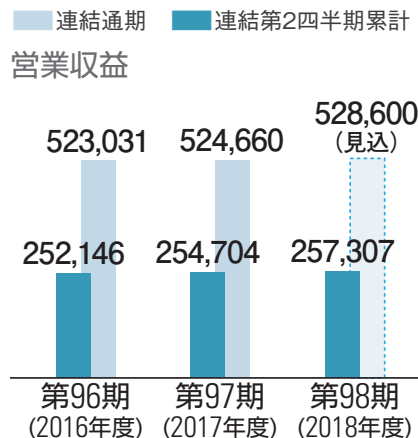
小田急グループは、お客さまの  
「かけがえのない時間<sup>とき</sup>」と「ゆたかな暮らし」  
の実現に貢献します。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は小田急グループに対するご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第98期上半期の業績および当社グループにおける取り組みにつきましてご報告申し上げます。

取締役社長 星野晃司

## ■ 連結業績ハイライト 単位：百万円



## 第98期(2018年度)第2四半期連結決算の概要

営業収益は2,573億7百万円と、前年同期に比べ26億3百万円の増加(前年同期比1.0%増)となりました。

一方、営業利益は運輸業において費用が増加したことなどから294億5千万円と、前年同期に比べ8億2千8百万円の減少(前年同期比2.7%減)、経常利益は287億4千9百万円と、前年同期に比べ2億8千5百万円の減少(前年同期比1.0%減)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては191億2千3百万円と、前年同期に比べ8千1百万円の減少(前年同期比0.4%減)となりました。

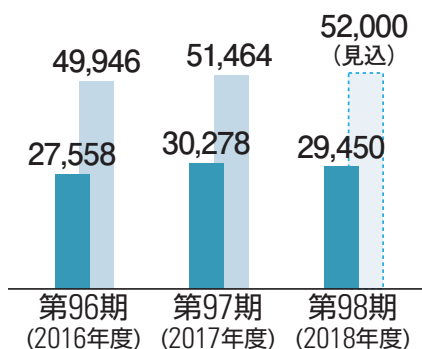
## 第98期(2018年度)の見通し

当期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績等を踏まえセグメント別内訳を変更しておりますが、2018年4月27日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

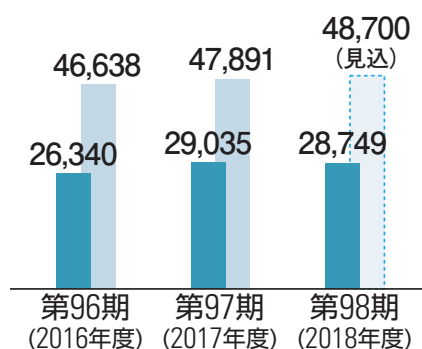
営業収益は5,286億円(前年比0.8%増)と、運輸業において、当社の鉄道事業における複々線化に伴うダイヤ改正効果を下方修正した一方で、流通業の百貨店業において、免税売上が好調に推移することを見込み、従来予想を据え置いております。

これに伴い、営業利益は520億円(前年比1.0%増)、経常利益は487億円(前年比1.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は310億円(前年比5.7%増)と、従来予想を据え置いております。

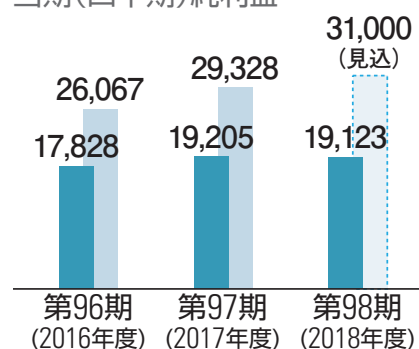
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益



## 運輸業

営業収益

**89,859**百万円

(前年同期比 1.2%増)

営業利益

**18,478**百万円

(前年同期比 5.8%減)



当社の鉄道事業において、複雑なダイヤ改正効果により定期・定期外ともに輸送人員が増加したほか、バス輸送が堅調であったことなどから、営業収益は増収となりました。

一方、営業利益は、当社の鉄道事業において減価償却費等の費用が増加したことなどから、減益となりました。

売上高構成比

**34.4%**

## 流通業

営業収益

**106,661**百万円

(前年同期比 1.5%増)

営業利益

**2,361**百万円

(前年同期比 6.8%増)



百貨店業において、(株)小田急百貨店町田店および藤沢店におけるリニューアル工事の実施に伴う売場閉鎖の影響があったものの、新宿店での訪日外国人客による免税売上が増加したほか、前期に(株)白鳩を連結子会社化したことなどから、営業収益は増収となりました。

これに伴い、営業利益は増益となりました。

売上高構成比

**40.8%**

## 不動産業



営業収益

**28,759**百万円

(前年同期比 0.8%増)

営業利益

**6,399**百万円

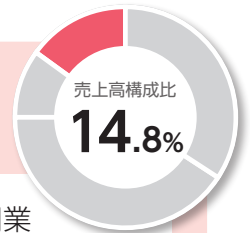
(前年同期比 12.4%増)



不動産分譲業において、住宅販売戸数が減少したものの、都心のリノベーション物件の販売が増加したほか、不動産賃貸業において、前期に開業した物件の収入が寄与したことなどから、営業収益は増収となりました。

これに伴い、営業利益は増益となりました。

## その他の事業



営業収益

**49,138**百万円

(前年同期比 0.0%減)

営業利益

**2,114**百万円

(前年同期比 22.0%減)



ホテル業において、前期に開業した物件の収入が寄与したものの、箱根エリアのリゾートホテルが天候不順等により減収となったことなどから、営業収益は減収となりました。

また、営業利益は、各事業において費用が増加したことなどから、減益となりました。

## 箱根エリアにおいて 総額100億円規模の大型投資をスタート



早雲山新駅舎(イメージ)

や世界各地から訪れるお客さまに一層楽しく、快適に箱根を周遊していただき、「特別な想い出」として心に残る経験のお手伝いをすることで、今後も箱根エリアの発展に貢献してまいります。

### 主な投資の概要

投資案件		導入・開業時期(予定)
箱根登山鉄道(株)・箱根ロープウェイ(株)	早雲山駅舎の改築・改良	2020年春営業開始
箱根ロープウェイ(株)	新型ゴンドラの導入	2021年4月営業開始
箱根登山鉄道(株)	箱根登山電車新型車両(アレグラ号)の追加導入	2019年5月営業開始
箱根観光船(株)	新型海賊船の建造	2019年4月就役
箱根登山バス(株)	路線バス車両の増車と更新	2018年度より順次実施

小田急箱根グループは、2018年度から2020年度にかけて、乗り物の新造や駅舎改良をはじめとする総額100億円規模の大型投資を順次開始いたします。

今回の大型投資により、日本国内



新型海賊船(イメージ)



## 特急ロマンスカー・GSE(70000形) グッドデザイン金賞 (経済産業大臣賞)を受賞

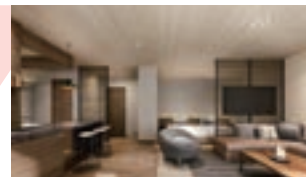
特急ロマンスカー・GSE(70000形)が、車内の快適性や眺望と開放性をはじめとした「旅」のワクワク感を醸成する高質な仕上がりなどが高く評価され、2018年度グッドデザイン金賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞いたしました。

当社車両がグッドデザイン金賞を受賞するのは初めてとなります。

## 箱根・強羅での新たなホテルの開業を決定

当社は、箱根・強羅で企業の保養所・研修所として使用されていた物件を取得し、(株)小田急リゾートとともに、リノベーションによるホテル開発に着手いたします。新たなホテル〔(仮称)小田急強羅ホテル〕は2019年8月の開業を予定しており、ホテル棟とコンドミニウム棟の2棟構成といたします。ホテル棟は、地上5階建てで、客室(62室)、レストラン、大浴場のほか、ウッドデッキや足湯等を備えた中庭、湯上がりラウンジを設置いたします。コンドミニウム棟は、地上4階建てで、強羅地区初となる、温泉が楽しめるビューバスを全客室(10室)に設置いたします。

ホテルの開業により新たな滞在拠点を設けることで、強羅地区の魅力の発信と、箱根を周遊される方々の心に残る想い出づくりに寄与してまいります。



コンドミニウム客室(イメージ)



湯上がりラウンジ、中庭(イメージ)

## 江の島周辺公道で 自動運転バスの実証実験を 実施

当社と江ノ島電鉄(株)は、2018年9月6日から16日まで、神奈川県と連携し、江の島周辺の公道において、自動運転バスの実証実験を実施いたしました。

本実験は、神奈川県が取り組む「ロボット共生社会推進事業」の推進と、当社グループにおけるバスの自動運転の検証のため実施されたものです。セーリングワールドカップシリーズ江の島大会の開催にあわせて、一般モニターを募集し、SBドライブ(株)の協力のもと、江ノ電バスの運行区間を一部延長し、実験車両を走行させました。

当社では、このような取り組みを通じ、快適な移動サービスの実現に向けて、次世代モビリティサービスを創出し、先進的なまちづくりを推進してまいります。



## 小田急マルシェ新宿 グランドオープン

当社は、小田急新宿駅西口地下コンコースにおける「セブン-イレブン」の新規開店や、隣接する「箱根そば 本陣」、「わおん。」の改装および「HOKUO the Garden」への業態変更とともに、エリア一体を「小田急マルシェ新宿」としてグランドオープンいたしました。

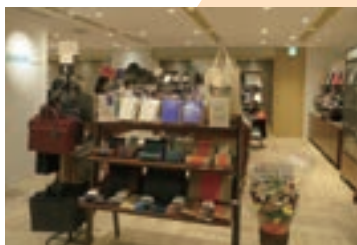
「小田急マルシェ新宿」は、小田急新宿駅の玄関口として、駅を訪れる皆さまに便利さや楽しさをご提供し、通勤・通学のお客さまが求める迅速性にお応えする駅ナカ商業施設です。



## 小田急百貨店町田店 リニューアルオープン(第一弾)

(株)小田急百貨店は、13年ぶりの大改装を進めている町田店において、10月にリニューアル第一弾となる、1階化粧品・婦人靴・ハンドバッグ・アクセサリ売場、2階服飾雑貨売場、4階呉服・時計・宝飾売場および5階リビング・家庭用品売場をオープンいたしました。

今後は、2019年春のグランドオープンに向けて、「生活に潤いと発見を～いつもそこにある安心感・ここだけにある特別感～」をコンセプトに、化粧品および服飾雑貨を強化・拡大するほか、「ビックカメラ」と「無印良品」を上層階へ新規導入し、町田店全体を活性化させてまいります。

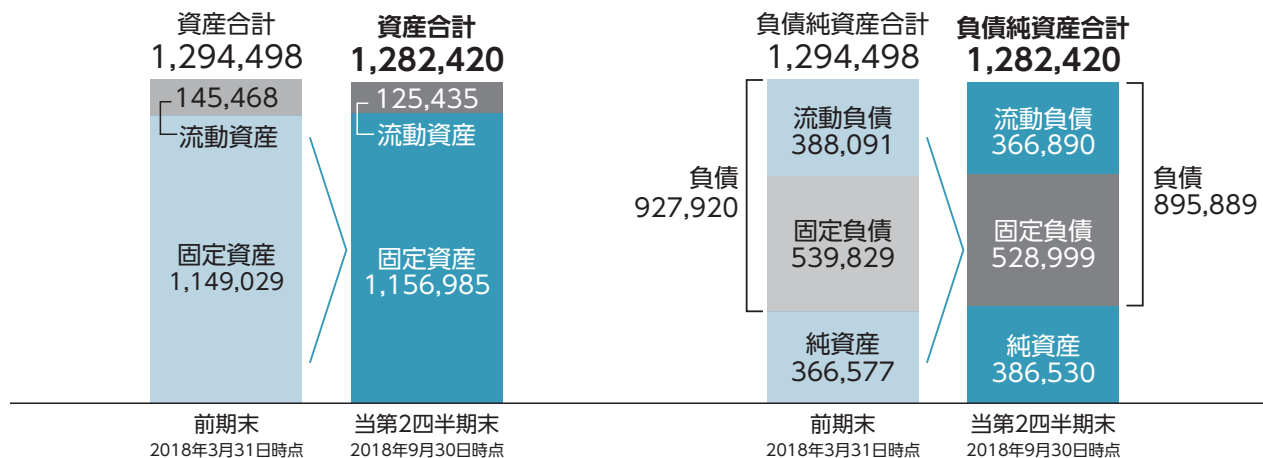


2階雑貨売場

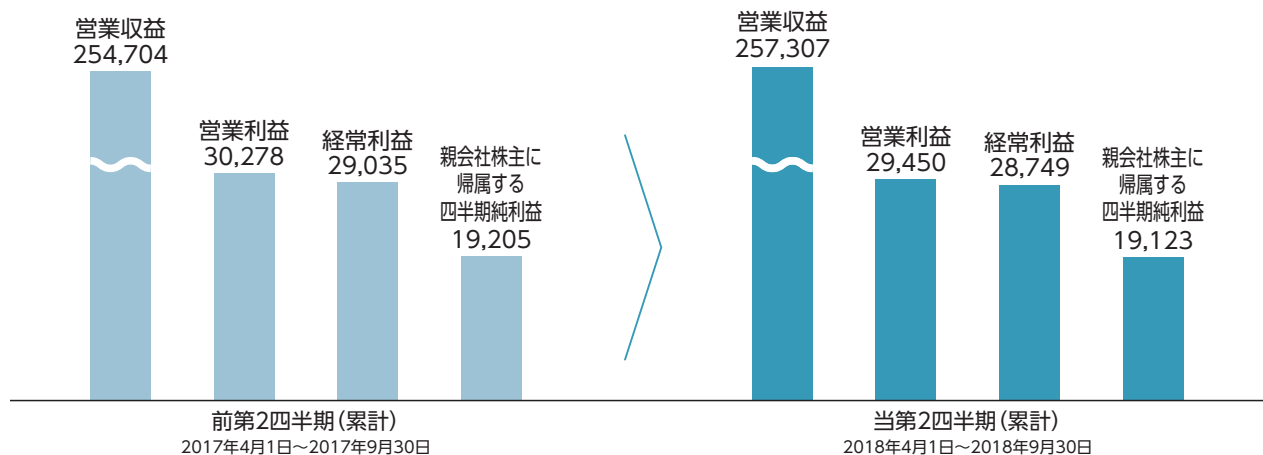


4階宝飾売場

■ 四半期連結貸借対照表 単位：百万円

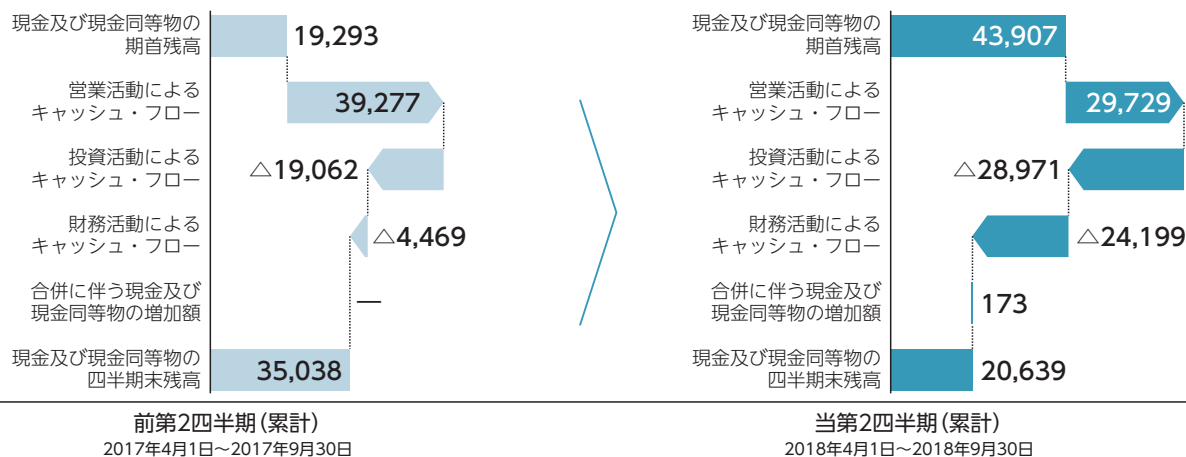


■ 四半期連結損益計算書 単位：百万円





## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 単位：百万円



## Point 四半期連結決算のポイント

### ▶ 資産の部

現金及び預金が減少したことなどから120億7千7百万円減少いたしました。

### ▶ 負債の部

有利子負債が減少したことなどから320億3千1百万円減少いたしました。

### ▶ 純資産の部

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから199億5千3百万円増加いたしました。

### ▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益272億6千5百万円に減価償却費や法人税等の支払額などを加減した結果、297億2千9百万円の資金収入と、前年同期に比べ95億4千8百万円の資金収入の減少となりました。

### ▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の取得による支出が増加したことなどから、289億7千1百万円の資金支出と、前年同期に比べ99億8百万円の資金支出の増加となりました。

### ▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済や社債の償還による支出が増加したことなどから、241億9千9百万円の資金支出と、前年同期に比べ197億2千9百万円の資金支出の増加となりました。

## 会社概要

設立 1948年6月1日  
(前身の小田原急行鉄道は1923年5月1日設立)

本社事務所 東京都新宿区西新宿一丁目8番3号

資本金 603億5千9百万円

発行済株式の総数 368,497,717株

株主数 51,633名 (前期末比 2,841名減)

事業内容 鉄道事業、不動産業、その他事業

従業員数 3,822名

## 株主メモ

決算期 3月31日

定時株主総会 6月下旬

同総会議決権行使株主確定日 3月31日

配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問い合わせ先 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告の方法 電子公告により行う。

ホームページアドレス <https://www.odakyu.jp/ir/koukoku/index.html>

## 役員

代表取締役会長 執行役員	山木 利満	常勤監査役	石井 良雄
代表取締役社長 執行役員	星野 晃司	常勤監査役	宇佐美 淳
代表取締役副社長 執行役員	小川 三木夫	監査役	宇野 郁夫
常務取締役 執行役員	下岡 祥彦	監査役	深澤 武久
常務取締役 執行役員	山本 俊郎	監査役	伊東 正孝
常務取締役 執行役員	荒川 勇		
常務取締役 執行役員	五十嵐 秀	執行役員	黒田 聡
取締役 執行役員	長野 真司	執行役員	水上 秀博
取締役 執行役員	立山 昭憲	執行役員	鈴木 滋
取締役	森田 富治郎	執行役員	山口 淳
取締役	野間口 有		
取締役	中山 弘子		
取締役	小柳 淳		
取締役	抱山 洋之		
取締役	端山 貴史		

## 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

### 1 マイナンバー制度とは

マイナンバー制度(※)とは、国民一人ひとりにマイナンバーを配布し、その番号によって複数の行政機関に存在する個人の情報を正確に連携させるための新しい社会基盤です。

(※)行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年5月31日法律第27号)

### 2 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書に株主さまのマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。

#### 主な 支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

### 3 マイナンバー制度に関する株主さまへのお願い

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社または三井住友信託銀行へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

#### マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券会社の口座にて株式を 管理されている株主さま	証券会社とのお取引がない株主さま
お取引の証券会社まで お問い合わせください。	下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。 三井住友信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-782-031

#### マイナンバーの保護措置・利用範囲・ご提供について

- マイナンバーの取扱いは、法律により厳格な保護措置が設けられております。
- マイナンバーの利用範囲は、社会保障・税・災害対策の行政手続に関する事務に限定されております。
- 社会保障・税・災害対策に関する事務に限定して、マイナンバーのご提供をお願いすることが可能となっております。

このページでは、当社グループが行うCSR活動についてご紹介をしていきます。

## ナチュラルミネラルウォーター 「箱根の森から」がつむぐ地域との共生

小田急線沿線には、身近な里山や公園から、箱根、江の島、丹沢・大山といった日本を代表する観光地まで、沿線各地で豊かな自然に恵まれており、当社グループでは、創業当初から「地域とともに発展する」という思いで事業を展開してきました。

当社では、「小田急箱根ハイランドホテル」の敷地内で採水される天然水を「箱根の森から」として商品化し、2009年4月より販売しておりますが、「箱根の森から」の売上の一部(一本につき1円)を箱根町に寄付する仕組みとしており、この寄付金は日街道杉並木や仙石原すすき草原の保護保全等に使われています。\*

今後とも、沿線の豊かな自然環境を、沿線の皆さまと共有すべき貴重な財産として保全し、自然からの恵みを継続して受けられるよう自然との共生活動に努めてまいります。

※寄付金総額は2,843万3,880円(2018年3月末現在)



## 株主優待制度のご案内

500株以上保有の株主さまに、半期に1回保有株式数に応じた優待乗車証のほか、小田急グループ200以上の店舗・施設でご利用いただける優待割引券をお送りいたします。

## 株主優待乗車証

優待乗車証と優待割引券はお手元に届いたときからご利用いただけます。

保有株式数	乗車証の種類		
	小田急線全線 優待乗車証		小田急線全線・ 小田急バス全線優待乗車証
	回数券式*	定期券式	定期券式
30,000株以上 (①～③より選択)	①	30枚	—
	②	60枚	1枚
	③	140枚	—
15,000株以上 (①～②より選択)	①	30枚	1枚
	②	110枚	—
10,000株以上		80枚	—
5,000株以上		40枚	—
3,500株以上		30枚	—
2,500株以上		20枚	—
1,500株以上		10枚	—
500株以上		4枚	—

+

3年以上継続保有 追加枚数
小田急線全線 優待乗車証 回数券式*
5,000株以上保有 6枚追加
1,500株以上保有 3枚追加
—

\*回数券式は1枚1乗車有効

## そのほかの各種ご優待例



\*掲載している株主優待制度は一例です。株主優待制度の詳細に関しては、当社ホームページ「株主の皆さまへ」をご覧ください。  
\*一部割引除外となる場合がございます。また、優待の内容については変更する場合がございます。

15,000株以上の  
株主さまの特典

小田急藤沢ゴルフクラブ  
1,000～3,000円割引



小田急西富士ゴルフ倶楽部  
約2,000～6,000円割引



小田急電鉄  
カレンダープレゼント

※9月30日時点の株主さまが対象



## 今後の日程

- 2019年 3月 31日：基準日(権利付最終日26日)
- 2019年 5月下旬：株主優待ご送付
- 2019年 6月 下旬：定時株主総会開催 ※掲載の内容は2018年11月時点での予定です。

小田急電鉄株式会社

〒160-8309 東京都新宿区西新宿一丁目8番3号  
IR室 電話03(3349)2526 ホームページアドレス <https://www.odakyu.jp/>



本冊子は、環境に優しい植物油インキを使用し印刷しています。